

長野県・軽井沢サミットの実現に向けて

佐久広域連合議会は、平成26年3月25日、議員提案の「長野県・軽井沢サミットの誘致を全面的に支援する決議」案を全会一致で可決しました。

サミット開催による効果

軽

井沢町での主要国首脳会議（サミット）開催は、知名度の向上や国際化の推進、会議需要の増大など、多くの経済効果をもたらすことが予想されますが、その効果は軽井沢町だけに留まらず、佐久地域ひいては長野県全体に波及することが期待されます。

図ることで、交流人口の拡大を目指しておりますが、サミット開催地として軽井沢の国際的知名度がアップすることは、佐久地域をはじめ長野県全体の発展につながります。

2 各国関係者やメディア等の滞在に伴う直接的な経済効果

各国関係者やメディア等の滞在が周辺自治体にまで及ぶことが予想されます。また、サミット開催前の1年間は、在京外国人記者等に対するプレスツアーや、各国大使館の訪問、先遣隊の視察などが行われ、外国人訪問客が急増する傾向があるので、佐久地域を含む県内の特産品等の魅力を世界に

向けてPRする絶好の機会になります。さらに、2020年東京オリンピックパラリンピックへ向けて国全体の機運が高まりつつある中、県内においても、佐久総合運動公園の整備、浅麓自治体による高地トレーニングエリア整備、上田市の大規模文化施設の建設、長野駅前の大改修などの大型事業が実施および計画されており、これらの事業にも少なからず影響を及ぼすものと思われまます。

1 地名が世界的に有名になることによる相乗効果
佐久地域にある「軽井沢」の地名が世界的に有名になることによる相乗効果

長野県・軽井沢サミット 実現に向けたこれまでの経緯

- 平成20年(2008)2月
○軽井沢観光協会の呼びかけで「軽井沢サミット誘致準備会」が発足。
- 軽井沢町議会に「軽井沢サミット誘致に関する陳情」が提出され、全会一致で採択される。
- 平成26年(2014)2月
○軽井沢町がサミット誘致を方針決定。
- 平成26年(2014)3月
○佐久広域連合議会が「長野県・軽井沢サミットの誘致を全面的に支援する決議」案を全会一致で可決



平成26年第一回議会定例会
決意表明する藤巻副広域連合長
(軽井沢町長)

長野県・軽井沢サミットの誘致を全面的に支援する決議
主要国首脳会議は、環境問題を含め、世界で直面する様々な課題を克服するため、加盟する8カ国が交代で議長国となり開催され、2016年には日本が議長国となり国内で開催される予定です。
〜中略〜
軽井沢でのサミット開催は、客観的に見ても、佐久地域を、進化させる長野県を売り出す絶好のチャンスであると考えられます。
よって、佐久広域連合議会は、長野県・軽井沢サミットの誘致を全面的に支援します。
以上、決議する。



2016年(平成28年) G8サミット 開催までの流れ



34回目のサミットが開催された北海道洞爺湖

■平成28年に日本でサミット開催

主要国首脳会議(G8サミット)は、日、米、英、仏、独、伊、加、露8カ国の首脳および欧州委員会の委員長が参加して毎年開催される首脳会議。加盟する8カ国が持ち回りで議長国になり、環境問題をはじめ、世界で直面する様々な課題が議論される。

日本国内における開催は、過去に東京で始まり、平成12年には九州・沖縄で、平成20年には北海道・洞爺湖で開催され、大都市から地方での開催へ移行している。

次の国内開催は、平成28年の予定で、今年の6月頃には首相がサミットのテーマを発表し、各都道府県に開催希望地を募る。その後、開催の1年前ぐらいいには開催場所が正式に決定する。



かるいざわのれきし
歴史
〈過去・いま・未来〉

明治

❖21年(1888)
カナダ人宣教師A.C.シヨーが、大塚山に別荘を建て(別荘の第1号)



堀辰雄が昭和16年に購入した別荘「1412番」

■保健休養地軽井沢の歴史は、明治19年、外国人宣教師A.C.シヨーが国内外に軽井沢を紹介したことに始まります。それ以降、政財界人等の別荘が建ち、明治中期には万平ホテルなどの西洋ホテルが開業します。

大正

❖27年(1894)
亀屋旅館を欧米風の外国人客専用ホテルに改造し、万平ホテルと改名

昭和

❖33年(1958)
当時の皇太子殿下と正田美智子様がテニスコートで出会う



❖39年(1964)
第18回オリンピック東京大会
総合馬術競技大会開催

平成

❖10年(1998)
第18回長野冬季オリンピック「カーリング競技」を風越公園アリーナで開催

❖28年(2016)
サミット開催
(議長国日本)



在では年間780万人が訪れる避暑地として全国的に知られています。

■皇室の御静養地として親しまれ、夏冬2度のオリンピック競技会場にもなっている軽井沢町は、開発等の規制をすることで良好な景観を維持し、現在

■戦時中も多くの駐日外交官と一般外国人が疎開し、各国の大使館や赤十字国際委員会が設置されました。1つの別荘(深山荘)にはスイス公使館が設置され、道を挟んだ場所にあった旧三笠ホテルに外務省軽井沢事務所が置かれたため、旧三笠ホテルは終戦交渉の舞台にもなりました。